

ガイダンス資料

- 力学 II の講義と密接な対応を保って進める
 - 10月6日の講義で日程表を配布する予定（シラバスとは微妙に異なるので注意）
 - 講義の内容を自力で再現できれば合格 講義内容を復習せよ! 自分の頭と手を動かすことが大事!!
- 運動方程式を解くために数学や数値計算を応用する力を養う
 - 毎回の小テストで常微分方程式を出題（配点 20 点）
 - 数値計算レポートを課す
- 採点基準（シラバスに書いてあるとおり 「学務支援システム」で各自確認）：
まず $(3/4)X + (1/4)Y$ により基本的な採点を定め、さらにボーナス点 Z を加点
 - 小テストの点数 + 追加課題 (α, β, γ) による修正 X (100)
 - 数値計算レポート Y (100)
 - ボーナス課題（力学アニメーションの作成） Z (15)
- 小テストおよび追加課題
 - 前日または前々日に「例題」を公表 各自で予習 リクエストがあれば解説
 - 小テストは相談不可 & 教科書など持ち込み不可（例題プリントも不可） 電卓は OK
 - ありえない式（左辺がベクトルで右辺がスカラーとか）を書いたら採点を中止し 0 点
 - 40 点に満たない人は「追加課題 α 」を提出（ただし例外措置あり） 50 点満点で採点
もとの点数を上回った場合には点数を差し替え（注：加算ではない）
 - 40 点以上の方は、できなかった問題を返却答案の裏にやりなおして提出（= 追加課題 β ）
表側と合わせて 80 点満点で採点 もとの点数を上回った場合には点数を差し替える
 - 60 点以上の方で意欲があるなら「追加課題 γ 」を提出（30 点満点） もとの点数に加算
 - 例外措置：以下の場合には α でなく β で提出可
 - * すべての問題について考えた跡が認められる場合（ただし 1 問でも放棄したらダメ）
 - * 本当は 40 点あるはずだが「ありえない式」で 0 点 当日のうちに申し立て 指示に従う
- 数値計算レポート
 - 10 月・11 月・12 月にそれぞれ 1 回ずつレポートを課す予定
 - パソコン上に作ったプログラムは消さずに残しておくこと
- ボーナス課題
 - 興味がある人 & 点数が足りない人のための課題（全員がやる必要はない）
 - 詳細は 1 月になってから連絡
 - 初期条件やパラメータの値などをその場で入力して実行できるような設計にすること
 - 作成したプログラムをスタッフの目の前で実行し、さらに証拠としてレポートを提出
- その他
 - 解答例は配布も掲示もしない（効果よりも弊害のほうが大きい）
 - 不正行為厳禁!! レポート泥棒・ウェブ掲示板への宿題丸投げなどは単位没収を覚悟せよ
 - 力学演習のホームページ: <http://www.damp.tottori-u.ac.jp/~ooshida/edu/Mech/>